

NPO 法人 生と死を考える会 2019年度
遺族支援スタッフ養成研修生 募集

本会は大切な人と死別した遺族の支援・自助活動や死生観の探索に、37年の長い期間携わってきております。

この度、これまで培われてきました実績をもとに、遺族支援スタッフ養成の研修会を実施いたします。

研修会では、遺族支援活動における基本的な知識や傾聴技術、態度などを理論と実践の両面より学びあいます。

募集要項をご覧の上、早めに応募されることをお待ちしております。

【募 集 要 項】

【受講対象者】

- 病死や事故、自死等により遺された遺族たちの支援ボランティア活動に関心のある方
- 死別体験当事者、また体験のない方でも、この分野の活動に日頃より関心のある方
(死別体験者は死別後1年以上経過されている方です)
- 研修修了後、本会の支援ボランティア活動に参画することが出来ます

【研修日程】 2018年5月29日(水)～ 7月31日(水) 全10回
1回2時間 計20時間 毎水曜日、午後6時30分～8時30分

- ・5月29日(水) ・6月5日(水) ・6月12日(水)
- ・6月19日(水) ・6月26日(水) ・7月3日(水)
- ・7月10日(水) ・7月17日(水) ・7月24日(水)
- ・7月31日(水)

【会場】 東京YWCA会館 2F(214号室) 生と死を考える会事務局

※JRお茶ノ水駅・御茶ノ水橋改札口より徒歩4分。東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅B1出口より徒歩4分。東京メトロ半蔵門線・都営地下鉄新宿線・三田線「神保町駅」A5出口より徒歩8分。都営地下鉄新宿線「小川町駅」B5出口より徒歩8分。
東京メトロ丸の内線「御茶ノ水駅」より徒歩5分。

※案内図は東京YWCA会館ホームページの地図をご参照ください。

- 【講師】 磯邊 聡 千葉大学教育学部教授 臨床心理士、「生と死を考える会・分かち合いの会」スーパーバイザー 千葉犯罪被害者支援センター理事。関連著論文：『ライフサイクルの臨床心理学』（培風館）、『子どもの死生観』（教育開発研究所、所収）など。
- 小山達也 東京女子医科大学看護学部講師、看護師。「生と死を考える会」理事。「分かち合いの会」スタッフ。専門は、精神看護学、自死遺族支援、自殺対策 など。
- 田畑邦治 白百合女子大学長、生と死を考える会副理事長。関連著論文：『悲しみを支える言葉－古事記から芭蕉まで』（佼成出版社）、『「心豊か」に生きるヒントは古典にあり』（三笠書房）など。
- 中里和弘 東京都健康長寿医療センター研究所 研究員、生と死を考える会理事。専門は、遺族心理、終末期ケア。関連著論文：『がん患者のところに寄り添うために サイコロジスト編』（真興交易医書出版部）（所収）など。
- 藤井忠幸 生と死を考える会代表理事、自死遺族ケア団体全国ネット代表、元内閣府自死遺族支援検討委員会委員。関連著論文：朝日選書『自ら逝ったあなた、遺された私』（所収）、現代のエスプリ『封印された死と自死遺族の社会的支援』（所収）など。

【参加費】 本会会員 20,000 円 会員以外 25,000 円

【定員】 12 名程度（定員になり次第締め切らせていただきます）

【申込み】 申込用紙に所定事項を記入の上、本会まで郵便、ファックス、メールにてお申込みください。

NPO 法人 生と死を考える会

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-8-11 東京 YWCA 会館 214 号室

電話：03-5577-3935 F a x：03-5577-3934

E メール： kensyu@seitosi.org

ホームページ：<http://www.seitosi.org/index.html>

【研 修 カ リ キ ュ ラ ム】

- | | |
|-----------------------|----------|
| ① オリエンテーション | 5 月 29 日 |
| ② 死をめぐる哲学―古代と現代 | 6 月 5 日 |
| ③ 死生観について | 6 月 12 日 |
| ④ 死別悲嘆の変化、プロセスについて | 6 月 19 日 |
| ⑤ 「傾聴」についての基本&実技 | 6 月 26 日 |
| ⑥ 個人傾聴とグループ傾聴の違いと共通点 | 7 月 3 日 |
| ⑦ 遺族に寄り添う際の大切な態度 | 7 月 10 日 |
| ⑧ 「自死」と自死遺族の悲嘆についての理解 | 7 月 17 日 |
| ⑨ 遺族「分かち合いの会」の役割と特徴 | 7 月 24 日 |
| ⑩ 遺族支援者に求められる課題など | 7 月 31 日 |

※必要に応じて実技も実施いたします。

※なお、講座のテーマ、内容、講師等は都合により変更することもあります。